

2013年1月31日

19年目を迎える「アフラックのバレンタイン献血」 ～ アフラックとアソシエイツ（当社販売代理店）が全国各地で展開 ～

アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社、日本における代表者・社長：外池 徹）は、毎年2月を「バレンタイン献血月間」として、当社販売代理店組織である「アフラック全国アソシエイツ会※」と共同で、全国各地で献血ボランティア活動を行っています。

本活動をスタートして19年目を迎える今年も、以下の通り、東京・大阪を中心に全国で実施します。

【アフラックのバレンタイン献血】

(1) 東京			
2月5日（火）	新宿三井ビル		（9：30～16：00）
2月14日（木）・15日（金）	調布アフラックスクエア		（10：00～16：00）※15日は15：30終了
(2) 大阪			
2月14日（木）	淀屋橋センタービル		（10：00～16：00）
(3) その他		全国各地のアソシエイツ会にて適宜開催	

「アフラックのバレンタイン献血」は、1995年の阪神淡路大震災への支援活動としてスタートしたボランティア活動です。

冬期、特に2月は、風邪やインフルエンザの流行で全国的に献血者が激減するため年間で最も血液が不足する時期であり、こうしたことから、アフラックでは毎年2月に「特定の人だけではなく、多くの人に“愛”を贈ろう」との思いを込めて、この活動に継続的に取り組んでいます。

その結果、アフラックの毎年恒例のボランティア活動として社員やアソシエイツにまで広く定着し、昨年は1,700人超が、累計では2万人を超えるアフラック関係者が参加しています。



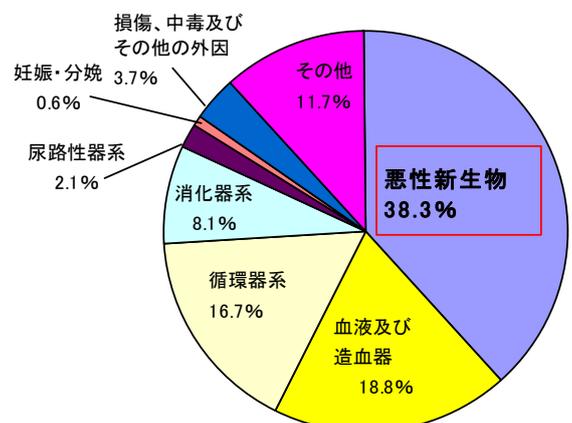
▲献血会場の様子（2012年）

なお、日本赤十字社に集められた輸血用血液の約4割は「がん（悪性新生物）」の治療に使われています（円グラフ参照）。

がん保険のリーディングカンパニーである当社では、がんと闘う方々を応援する活動の一環として、この献血ボランティア活動を今後とも継続していきます。

※アフラック全国アソシエイツ会
1989年11月、アソシエイツ（当社販売代理店）の社会的・経済的使命の実現と経営の質的向上を図り、広く社会の保健・福祉に貢献することを目的に設立された組織で、全国10,581店の会員で構成されています（2013年1月16日時点）。

<疾病別の輸血状況>



出典：日本赤十字社 東京都「2010年輸血状況調査」